



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)  
市民病院の民間譲渡について

**Q** 地域医療保障という点では今後の市民病院のあり方は大きいと考える。市民にとって市民病院の民間譲渡は重要な地域医療の問題であり、今後も市が責任を持つ形で継続させることがどうしても必要だと考えるが、市の見解は。

**A** 本市の地域医療を保持するためには、市内各医療機関の連携が重要です。地域における医療ニーズを的確に把握し、かつ迅速に対応しなければなりません。その意味からも市民病院の民営を進めることにより、本市の地域医療を保持してまいりたいと考えています。



菅原 達 議員(公明党議員会)  
新たな人の流れによる定住人口の増加について

**Q** 観光立市、スポーツ立市、産業・文化立市の3つのリーディングプロジェクトの推進により、新たな人の流れが創出されることに期待している。この新たな人の流れによる交流人口増から定住人口増へとつなげていくための要所をどう捉えているのか伺いたい。

**A** 交流人口増から定住人口増へつなげるための要所については、安定した仕事の創出や交流人口の創出を促進するとともに、教育、福祉、子育ての分野に力を入れていくことが定住人口増につながるものと考えています。



◀ 施政方針説明の様子



横田 誠 議員(新風)  
産業・文化立市について

**Q** なぜ産業と文化を分けずに、ひとつくりにして「産業・文化立市」としたのか、その背景や意図並びに観光立市、スポーツ立市との関連性についての見解を伺いたい。

**A** 産業・文化立市は、地方創生の推進、地域経済の活性化を図る上では、地域産業の振興はもとより、文化の魅力を活用して、精神サービス、誘客を市の産業の一翼を担う存在へと発展させていくなど、産業と文化を一体的なものとして取り組んでいくという観点から、産業・文化立市としました。また、観光立市、スポーツ立市との関連性については、それぞれ単独ではなく、連携して取り組む必要があると考えています。



篠原 一世 議員(政友みらい)  
定住促進の施策について

**Q** 定住促進を主要テーマとした理由と、定住や人を呼び込む特色ある施策について伺いたい。

**A** 定住促進を主要なテーマとした理由は、出生数の減少や、また若年層を中心とした人口流出などにより、将来的に人口が大幅に減少すると予想されていることから、人口減少対策に取り組み、定住人口を確保することが重要な課題となっております。このため、新たに定めた将来像の実現に向けては、定住、移住対策が必要不可欠であることから推進テーマとしたところであります。